

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和6年2月15日

事業所名 児童発達支援センターにこっと 放課後等デイサービ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7	0		
	2	職員の配置数は適切である	6	1	個々に合わせて担当を決めたり、児童の職員に協力してもらっています。	曜日によって利用人数が異なり手薄になることがあります。危険の無いように細心の注意を払いながら対応しています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	7	0		
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7	0	ケース会議、振り返りを実施し、日々の業務における再確認や気づきを話し合うことができます	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7	0		
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7	0		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	7	0		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7	0		
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7	0		
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7	0		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	7	0	ケース会議にて個々の好みを考慮して話し合い活動に取り入れています。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7	0	個々の興味に合わせて考えています。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	3	4	楽しめる活動の工夫をおこなってきました。	活動の計画が直前になってしまうことが多いため、一か月前には決めていき、振り返りの時間も取れるように業務内容の見直しをおこなっていきます。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7	0		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	2	申し送りノートを活用し確認をおこなっています。	全員集まるとの打ち合わせが難しく実施できる日とできない日もあるため、今後も時間の調整と申し送りをしっかりとおこなっていきます。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	3	夕方の退勤時間に差があるため、緊急時以外は翌日に振り返り、情報の共有をおこなっています。	今後も継続して振り返り、申し送りをおこない支援に繋げていきます。パート職員へも忘れずに申し送りをおこなっていきます。時間が取れるように業務内容の検討もおこなっていきます。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	0	忘れないように心がけて、その日のうちに個人ノートを利用して記録をおこなっています。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7	0		
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7	0		

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7	0		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	7	0	送迎時に担任の先生に直接様子を聞きしたり、電話で確認、情報の伝達をおこなっています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	7	0	マニュアルを設けています	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	7	0		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	5	2		まだ該当する方はおりませんが、情報の共有をしっかりとこなっていきます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6	1		各施設でどのような環境で、どう支援しているのかなど今後も情報の共有をおこない、知識のスキルアップに繋がっていきます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	6	1	保育園の子どもの交流を通して良い場面がたくさん見られています。	児童館、児童クラブとの交流も持てるように情報の共有をおこなっていきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	7	0		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7	0		
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	6	1	外部の方を招いて研修会をおこなっています。	今後も、面談や相談時対応をおこない、研修なども継続して実施していきます。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7	0		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7	0	カフェを実施し、保護者同士の交流の場を設けております。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	7	0		
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7	0		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7	0		
	35	個人情報に十分注意している	6	1	個人情報を持ち出さないようにしています。施設内の記名は目に付かないようにしています。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7	0		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	7	0	なかなか地域住民を招待する事業はできていないが、見学は受け入れています。	

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	7	0		
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	1		平日の避難訓練は学校に行っているため難しい状況です。長期休みなどを利用して児発とともに実施できるようにしていきます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7	0		
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	7	0		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7	0		
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	1		申し送り、振り返りなどその都度確認しながら支援にいかしています。